

愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

一般社団法人 愛知県社会福祉士会 福祉・介護情報調査センター

②施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ浄心保育室	種別：地域型保育事業	
代表者氏名：寺田 明彦	定員（利用人数）： 14名	
所在地：名古屋市西区上名古屋3丁目25-15ラ・キャッスル21浄心103号		
TEL：052-522-1005		
ホームページ： https://www.nichiikids.net/nursery/other/joshinni/index.html		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成26年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 株式会社ニチイ学館		
職員数	常勤職員： 4名	非常勤職員 6名
専門職員	（専門職の名称）	
	保育士 4名	3名
	その他	3名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	4	乳児室・ほふく室、保育室・遊戯室、トイレ

③理念・基本方針

おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ ～子どもたち自身の持つ力を最大限に活かし、伸ばしていくことで、「やさしく、強く生き抜く力」を育む

④施設・事業所の特徴的な取組

周囲にはたくさん公園があり、積極的に外出し子どもたちが自然に触れ合うことができる機会を設けている。 地域の方との交流も活発に行われている。 経験豊富なスタッフがおり、安定性の高い保育が提供されている。
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成28年 7月14日（契約日）～ 平成 28年 6月 26日（評価決定日）
受審回数 （前回の受審時期）	0回 （平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

法人と、保育室それぞれが役割を明確に分担し、保育室の職員が保育に集中できる体制をとっている。保育室は開設から2年であるが、経験豊富な室長のもとで、職員は落ち着いて保育に携わっている印象を受ける。

職員のスキルアップや働きやすさの向上に、保育室として取り組み、法人がバックアップしている。

子どもの成長や発達について、全スタッフで課題を共有する体制が出来ており、組織的な対応が行われている。

◇改善を求められる点

受け入れる子どもが0歳から2歳児となっているため、卒室時に保護者は再度保育所等を探す必要がある。保護者の安心感、保育の継続性の為、保育室は行政当局とも連携しながら取り組みを進められることを期待する。

・法人としての業務手順書は整備され、標準化も図られているが、当保育室独自の業務マニュアル等の整備に取組まれることを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

室長はミーティングや休憩時間などの会話を大切にし、保育者同志の人間関係の構築に尽力しました。2年間の取組みにより、保育者が保育に対する考えを発言しやすい雰囲気を作り出すことができました。このことが保育者の安心に繋がり、かつ利用者に対する丁寧な保育提供へと繋がっていると思います。ご評価いただいたことを大変嬉しく思います。今後も保護者様とのコミュニケーションを密にし、子どもたちの成長を共に喜び合える保育所でありたいと思います。

改善点として挙げられている卒園後の入所先確保については、行政機関との連携を更に強固にし、保護者様が安心して小規模保育所をご利用いただけるようにして参りたいと思います。

また、各施設ごとに状況の異なる運営上の工夫面に対しては口頭伝達や資料の貼付に留まり、マニュアル整備には至っていませんでした。すべての保育者が同じ理解のもと運営できるようマニュアル整備に努めます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。
※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

調査施設名:

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

第三者評価結果

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。				
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保1	a	b	c
<コメント> ・法人の理念、基本方針は明文化され保育事業の使命や、目指す方向性が示されている。 ・職員への周知は、毎月のスタッフミーティングなどの機会に、さらに充実を図られることを期待する。				

Ⅰ-2 経営状況の把握

第三者評価結果

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保2	a	b	c
<コメント> ・法人において、全国レベルの保育事業環境や経営状況の把握・分析がされている。				
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保3	a	b	c
<コメント> ・法人は事業経営を取り巻く課題を明確にし、事業運営に取組んでいる。				

Ⅰ-3 事業計画の策定

第三者評価結果

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	保4	a	b	c
<コメント> ・中・長期経営ビジョンと中長期の収支計画は法人が策定しており、保育室独自の計画は策定されていない。				
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	保5	a	b	c
<コメント> ・年間行事計画、研修、保健・安全など単年度の事業内容を具体的に示す文書はあるが、事業計画として策定されていない。 ・法人が編成する中・長期の事業計画および収支計画を踏まえ、保育室として固有の目標を達成するための具体的な事業計画を策定されることを期待する。				
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。				
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	保6	a	b	c
<コメント> ・事業計画の策定に職員が参画できる仕組みを、組織的に導入されることを期待する。 ・事業計画の実施状況の把握や評価・見直しに関しても職員の参画や、保護者の意見の集約・反映される仕組みを導入し、策定された事業計画が職員や保護者等に周知される仕組みの強化が望まれる。				
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	保7	a	b	c
<コメント> ・保育室独自の事業計画は作成されていないが、保護者に対し年間の行事等の内容は周知されることがアンケートから読み取れる。 ・毎月のおたよりでは、必要な情報を的確なタイミングで保護者に知らせている。				

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

第三者評価結果

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。				
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	保8	a	b	c
<コメント> ・毎月スタッフミーティングを行っており、職員が保育の質の向上を目指した取組を検討できる体制を整えている。今回の第三者評価結果の分析と検討の仕組み、毎年の自己評価への取組みが期待される。				
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	保9	a	b	c
<コメント> ・今回初めて第三者評価を受審した。評価結果の分析と、分析内容についての検討が行われる予定となっている。				

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

第三者評価結果

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	保10	a	b	c
<コメント> ・施設長マニュアルを用意。施設長の役割や業務、責任をきめ細かく定められており、毎月行っているスタッフミーティング等を通して、施設長の役割と責任を職員に伝えている。				
II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保11	a	b	c
<コメント> ・法人は施設長会議などにおいて、遵守すべき法令等を施設長に周知しており、保育室では各種法令に基づく内容を含む100項目の自己点検シートを用いて法令等の順守について状況を確認している。				
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	保12	a	b	c
<コメント> ・室長は子どもの発達に応じて、ひとり一人に手厚く関わることのできる小規模保育事業の特性を理解し、取組を行っている。				
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	保13	a	b	c
<コメント> ・時間外労働は必要最小限になるよう努め、職員が働きやすい環境を整備することによって質の高い保育サービスを提供出来るよう取組んでいる。				

II-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	保14	a	・ b ・ c
<コメント> ・法人で一括して管理し、人材確保の計画や取り組みが行われている。 ・保育室は外部研修への派遣を実施するなど職員の要望に応え、モチベーションの向上に取り組んでいる。			
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	保15	a	・ b ・ c
<コメント> ・法人は目標管理制度と連動して、職員の人事考課を行っており、室長は定期的に行う職員との話し合いで、職員の意向・意見を把握している。			
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	保16	a	・ b ・ c
<コメント> ・職員の心身の健康と安全の確保のためマニュアルが整備されている。勤務シフトは、職員の希望や意向を配慮して作成しており、有給休暇は概ね希望通りに取得できるよう努めている。 ・職員からの相談窓口として、法人にコンプライアンス委員会を設置し、組織的に働きやすい職場づくりに取り組んでいる。			
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保17	a	・ b ・ c
<コメント> ・目標管理シートとOJTシートの活用により、職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 ・保育室の目標や方針に沿った職員の目標が、明確に設定されることを期待する。			
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保18	a	・ b ・ c
<コメント> ・法人にて職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され実施されており、保育室内研修、名古屋市が開催する研修を受講している。			
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	保19	a	・ b ・ c
<コメント> ・名古屋支店にて策定された教育・研修に関する方針や計画に基づき、職員一人一人が均等に教育・研修に参加できる機会が確保されている。 ・研修内容は必ず報告し、研修成果の確認を行っている。			
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	保20	a	・ b ・ c
<コメント> ・法人として実習生の受け入れマニュアルを作成している。当保育室での受け入れの実績はない。			

II-3 運営の透明性の確保

第三者評価結果

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	保21	a	・ b ・ c
<コメント> ・ホームページや園だよりにより運営状況を掲載している。 ・事業内容や財務内容等に関する情報公開、保育園の特色ある実践・取組みの情報を積極的に公表する取組みは再検討が必要であると思われる。 ・保育園ホームページから第三者評価の結果が閲覧できるように工夫するなど、情報公表に向けた改善の取り組みを期待する。			

II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保22	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・会社役員は社外からも加わり、監査が行われ、公正かつ透明性の高い適切な経営・運営のための取組が行われており、法人は企業として経営・運営の透明性と説明責任を果たすよう努めている。 ・事務、経理、取引等に関するルールは明確で、職員は保育に専念できる体制となっている。						

II-4 地域との交流、地域貢献

第三者評価結果

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。						
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保23	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・夏に公立の連携園のプールを利用するなどの交流や、デイサービスなどの高齢者施設との交流が行われている。						
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保24	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・法人としてボランティアの受け入れマニュアルを作成している。小規模保育の実態に合わせたマニュアル等の整備に取り組まれることを期待する。						
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。						
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保25	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・社会資源の連絡先等の整理がされている。 ・小規模保育事業にとって必要な社会資源の明確化は見直しの余地があると思われる。						
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。						
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	保26	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・法人としては取組をおこなっているが、小規模保育事業での具体的な取組みは行っていない。家庭的な保育サービスを提供している事業の特性を生かした取組みの検討を期待する。						
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保27	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・法人としては取組を行っている。小規模保育事業での具体的取組みの検討を期待する。						

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

第三者評価結果

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。						
III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保28	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・子どもを主体とした保育内容を展開するよう努めている。 ・子どもを尊重した保育の提供にを明記した倫理綱領等を策定し、保育実践を行われることを期待する。						
III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保29	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・虐待防止チェックシートを用意し、子どもの権利擁護に配慮した保育を行っている。 ・屋内の見通しが良い環境のため、着替えの時は配慮している。						

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	保30	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 区役所への印刷物の配置、ホームページで情報を提供している。 ・ 区から紹介のあった利用希望者へは、個別に説明し見学の希望に対応している。			
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保31	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 重要事項説明書により個別に説明をし、保護者から同意を得ている。			
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保32	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 卒室する子どもの受け入れ先の確保について、行政当局とも連携し保育の継続性が確保されるよう取組むことを期待する。			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上向上に努めている。			
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保33	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 保護者会や個別面談を実施する際、日々のコミュニケーションから利用者満足を把握するよう努めている。			
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保34	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 法人は「事故トラブル・苦情マニュアル」を整備しており、苦情解決の仕組みを組織的に確立している。契約時に重要事項説明書において、苦情担当責任者・担当者等苦情解決の仕組みについて、保護者に説明を行っている。苦情や意見に関する検討内容や対策について保護者に伝える仕組みの再検討を期待する。			
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保35	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 法人による保護者からの意見や相談苦情等を受け付ける仕組みがあり、事業所はそれらの資料の配布をしている。 ・ 登室時に保育士による積極的にコミュニケーションをとることで、保護者が意見等を述べやすい環境を整えている。			
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保36	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 要望、提案、意見は職員の権限と責任に応じ組織的に対応する仕組みが確立されている。			
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	保37	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 法人による「事故発生時の対応と安全確保に関するマニュアル」が整備されている。 ・ 2ヶ月に1度不審者侵入時避難訓練を行っており、年間指導計画に基づきリスクマネジメントの取り組みがある。 ・ ヒヤリハット研修及びヒヤリハット事例の収集及び分析を行う仕組みを進める予定がある。			
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	保38	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 感染症予防のマニュアルが整備されている。 ・ 重要事項説明書において感染症予防と対応について明示し、保育室だよりで適時注意を促している。 ・ 地域で流行している感染症について連携園から派遣される支援員さんより情報を得て、保護者に周知するよう努めている。			
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	保39	a	・ b ・ c
<コメント> ・ 事業所内では避難訓練を（火災・地震想定）毎月実施しており、10月には津波を想定した避難訓練を実施した。ヘルメット、備蓄（離乳食含む3日分）が備え付けられている。 ・ 災害時の連絡方法について、伝言ダイヤルの活用等が保護者に周知されている。			

III-2 福祉サービスの質の確保

第三者評価結果

III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。				
III-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	保40	a	b	c
<コメント> ・重要事項説明書の中でプログラムが明文化されており、経営法人による「保育業務マニュアル」が整備されており、業務シュミレーションとして「基本的にとるべき保育」を入社時に教育し、OJTにより確認する体制ができている。				
III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保41	a	b	c
<コメント> ・法人は随時マニュアルの見直しを行い、保育室は職員の合意を図り標準的な保育の提供を見直している。 ・保護者の意見を反映する仕組みを検討されたい。				
III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。				
III-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	保42	a	b	c
<コメント> ・個人懇談会などでニーズを聴取り、児童票によりアセスメントを行った上で、指導計画を策定している。				
III-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	保43	a	b	c
<コメント> ・指導計画は実施状況を踏まえ、毎月見直しを行っている。 ・見直しを行った指導計画は、全職員がその内容を知ることができる体制となっている。				
III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。				
III-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保44	a	b	c
<コメント> ・定められた様式により、保育の実施状況が記録されている。 ・記録は全職員が内容を確認することができるようになっている。				
III-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保45	a	b	c
<コメント> ・記録の保存年数と廃棄などを定める個人情報保護取り扱い規程が整備されており、保護者から情報開示請求を求められた場合のルール・規程は確立されている。				

A-1 保育内容

第三者評価結果

A-1-(1) 保育課程の編成				
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保46	a	b	c
<コメント> ・保育過程は保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。 ・保育理念を踏まえ小規模保育事業の実情に合わせ、職員間で話し合い編成を行っている。				
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開				
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保47	a	b	c
<コメント> ・フローは明るく、キャラクターの絵などが壁に貼られて、楽しい気持ちになるよう工夫されている。 ・換気とエアコンの調整に注意を払うとともに、収納ボックスの角や支柱には柔らかい素材でガードし安全面にも十分配慮されている。				
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	保48	a	b	c
<コメント> ・一人ひとりの子どもの発達過程にあわせて声かけを行うなど、丁寧な保育を行っている。 ・家庭環境や生活リズム等の違いにも配慮している。				
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	保49	a	b	c
<コメント> ・保護者と相談しながら、家庭からの要望があれば受け入れつつ、子ども自身のやる気を大切に援助している。				

A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	保50	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・片付けボックスには写真で何が収納されているのか子どもにわかりやすく、主体的な活動を促している。 ・近隣の公園に散歩に出かけるなど、身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。							
A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保51	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・乳児保育担任との愛着関係が築けるように、月齢に応じた保育に留意されている。 ・0歳児専用の連絡帳等を通して保護者とのコミュニケーションも細かくされている。							
A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保52	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・子どもの自我の育ちを見守りながら、友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。 ・保護者との連絡帳を通して保育内容の共有を図っている。							
A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保53	a	・	b	・	c
非該当							
A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保54	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・開設後、間もないこともあり、障害のある子どもを受入れた実績はない。 ・職員は研修を受講し、発達がゆっくりした子どもや障害のある子どもを受入れる準備を行っている。							
A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保55	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・長時間の保育計画があり、異年齢の子どもが一緒に過ごせるように配慮するとともに、保育士間の引継ぎも適切に行われている。 ・子どもが淋しい思いをしないように心がけ、穏やかに過ごせるように工夫している。							
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	保56	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・小規模保育室であり3歳児になると卒室となるため、保護者は次の保育所等を探すため見学等を行う際には情報提供を行い、相談にも応じている。							

A-1-(3) 健康管理

A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	保57	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・「年間保健計画」が策定されており、毎月、身体測定を実施し、毎日の体調管理を行い、連絡帳等を利用し健康状況について保護者と共有している。							
A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	保58	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・健康診断、歯科検診の結果は個人別記録に記入し、保護者にも伝え連携を図るとともに、職員間でも共有している。							
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	保59	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・昼食は外注弁当となっており、委託業者でアレルギー除去食対応がされている。配膳時にアレルギー除去食がわかりやすいように配膳プレートの配色により対応されている。 ・名古屋市が開催しているアレルギー疾患の研修に参加し、学んだ内容を職員間で共有している。							

A-1-(4) 食育、食の安全

A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	保60	a	・	(b)	・	c
<コメント> ・年間食育計画が作成され、子どもたちの発達状況に応じた対応ができており、季節や行事に応じて、手作りおやつを提供している。 ・保護者には献立表を提示するとともに、メニューの変更があった場合、食事の様子は連絡帳により伝えている。							

A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	保61	a	・	b	・	c
<コメント> ・保育士さんの明るい声かけにより、どの子どもも美味しそうに安心して食事をしている様子が視察により確認できた。						

A-2 子育て支援

第三者評価結果

A-2-(1) 家庭と綿密な連携						
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	保62	a	・	b	・	c
<コメント> ・連絡帳や送迎時の保護者との会話等によって、家庭との連携を行っている。 ・保護者会等の機会に子どもの発達や保育の意図について保護者と相互理解を図る仕組みを行っている。						

A-2-(2) 保護者の支援						
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保63	a	・	b	・	c
<コメント> ・職員と保護者との信頼関係がしっかり出来ていることが、アンケート結果から読み取れる。 ・相談窓口を複数設置しており、組織的に保護者を支援している。						
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保64	a	・	b	・	c
<コメント> ・職員は虐待等権利侵害に関する研修会に参加しており、虐待防止マニュアルが整備されている。						

A-3 保育の質の向上

第三者評価結果

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)						
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保65	a	・	b	・	c
<コメント> ・半年に1回の人事考課の中で、職員の目標に対する自己評価を行い、施設長等との面談を通し、保育実践の振り返りを行っている。保育士の自己評価の方法を法人内で今後、さらに整備をする予定。						